

Technical Data Report

フィキサー #109

《無黄変型ブロックイソシアネート中温（130℃以上）架橋剤》

フィキサー #109は、当社独自の技術により開発した無黄変型ブロックイソシアネート架橋剤です。ブロックイソシアネートタイプの架橋剤は、活性イソシアネート基がブロック剤で保護されており、通常の状態では安定を保ちますが、加熱処理によってブロック剤が解離し、イソシアネート基が再生して硬化、架橋反応します。

フィキサー #109は、従来の同タイプの架橋剤よりもブロック解離温度が約20℃低いので、従来のものよりも架橋効果の向上が可能です。

【性状】	外観	： 淡青色水溶液
	組成	： 無黄変型ブロックイソシアネート
	不揮発分	： 約27%
	P H	： 7.5～8.5
	粘度	： 1,000 mPa・s 以下（25℃）
	イオン性	： アニオン

- 【特長】
1. メラミン架橋剤や従来のブロックイソシアネート架橋剤のように、ホルマリンやスズ等を含まないエコタイプです。
 2. 従来のブロックイソシアネート架橋剤よりも低温（130℃以上）でブロック剤が解離します。
 3. 熱や光、NO_x ガスによる黄変がほとんどありません。
 4. 一液化が可能でポットライフの問題がありません。
 5. 水系樹脂（アクリル・ポリエステル・ウレタン・酢ビ・ラテックス等）の耐水性、耐熱性、接着性等の向上
 6. ポリビニルアルコール水溶性樹脂の不溶化（添加量5%以上必要）

【使用方法】

プリント・コーティングバインダーには **1～5% (10～50g/kg)**

パディング・浸染による撥水加工や顔料染色等には **0.5～1.5% (5～15g/L)**

L)

*樹脂の種類や固形量、用途により調整して下さい。

架橋効果を発揮するには、**130℃以上の熱処理が必要**です。

*実温誤差がありますので設定は**130～150℃以上**が望ましい。

また、より高温の方が、より大きい効果が得られます。

株式会社 村山化学研究所 MURAYAMA CHEMICAL LABORATORY CO., LTD.

<本社> 〒629-0152

<Head office> 3, kamikawaharada, Oyabu, Yagi-cho,

京都府南丹市八木町大藪上河原田3番地

Nantan-city, kyoto, 629-0152 JAPAN

TEL (0771) 42-5248 / FAX (0771) 42-5148

E-mail : mc8888@paw.hi-ho.ne.jp

Technical Data Report

実際の使用にあたっては、充分な確認試験のうえ御使用下さい。